

あすかのゆ

～ 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 ～

新たな温泉文化を発信する拠点、飛鳥時代をイメージした湯屋が誕生します

平成29年9月
オープン予定



特徴1 外観 596年 聖徳太子の来浴や 661年 齊明天皇の行幸などの伝説が残る飛鳥時代の建築様式を取り入れた特徴的な外観。

特徴2 中庭 中庭は、聖徳太子が詠った「椿の森」をイメージし椿が生い茂っている当時の様子を再現。

特徴3 浴室 1階は、開放的な大浴場と露天風呂。
2階は、本館の皇室専用浴室の又新殿を再現し家族風呂として利用。
昔の浴衣「湯帳」を着て古代の入浴が体験可能。



内観コンセプト

「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語などを「愛媛県の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出し、「温泉の癒し」と松山・道後でしか体験できない、感性を刺激する「新たな温泉文化を発信する拠点」を目指します。

エントランス



空気を浄化する「ゼオライト和紙」のシェードや世界遺産・薬師寺西塔の再建でも使われた『千年の釘（和釘）』で描く湯玉

浴室



奈良・平安時代からの歴史があり、国指定伝統的工芸品である『砥部焼』の陶板壁画

露天風呂



全国第2位の生産量を誇るヒノキの『デコラパネル』で雄大な自然を感じる装飾壁

特別浴室



和紙をすくための道具で、細い竹ひごで繊細に編み上げられる『伊予簾』の御簾（みす）

休憩室



国指定の伝統工芸品である大洲和紙と金属箔の融合で生まれた『ギルディング和紙』のシェードと照明

道後温泉本館

～今もこれからも元気に営業中～

建築から123年経った現在、そしてこれからも、皆さまをお迎えます



よくあるご質問

Q 道後温泉本館は、現在利用できますか？

A はい。元気に営業中です。

Q 本館の工事は、いつからですか？

A 今年秋のえひめ国体終了後の適切な時期を予定しています。

Q 工事期間は、入浴できないのですか？

A いいえ。工事期間中も入浴できます。

道後温泉本館

明治27年(1894)に改築された道後温泉本館は、平成26年に改築120周年を迎えた日本を代表する近代和風建築で、平成6年に公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定されました。平成21年に発行された「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では、最高位の三つ星の評価を受けるなど、国内だけでなく海外からも高く評価されています。



玄関



神の湯(男湯)



神の湯(女湯)



休憩室



又新殿



交通アクセス

🚗 車をご利用の方

松山ICより約21分

🚆 鉄道をご利用の方

JR松山駅から伊予鉄道電停JR松山駅前より
伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約25分

✈️ 飛行機をご利用の方

松山空港リムジンバス道後温泉駅前行きで約40分

🚢 船をご利用の方

松山観光港リムジンバス道後温泉駅前行きで約43分

